



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	47,758,500株	2022年3月期	47,758,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,168,064株	2022年3月期	4,196,064株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	43,573,605株	2022年3月期2Q	43,545,848株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され、経済社会活動の正常化が進むなかで、景気は緩やかに持ち直してきました。また、世界の経済状況においても景気の緩やかな持ち直しが続きました。一方で、急速な円安の進行や、ウクライナ情勢の長期化及び中国経済の減速等の影響による原材料価格の上昇やサプライチェーンの停滞及び半導体不足等、景気の下振れリスクが懸念されます。

このような状況のなか、当社グループは、2023年度（2024年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2023」の達成に向けて、引き続き「①基盤分野の強化と成長分野の拡大」「②研究開発投資の拡大」「③持続的なESGの取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次表のとおりとなりました。

海外事業において北米子会社が順調に推移したこと、また、PPP事業において株式会社みずむすびマネジメントみやぎを連結したこと等により、売上高及び営業利益共に前期を上回りました。なお、経常利益には、円安影響による為替差益997百万円が含まれています。

当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第2四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

	2022年3月期 (百万円)	2023年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	39,482	46,730	+7,248	+18.4
営業利益	△3,209	△2,984	+224	—
経常利益	△3,082	△1,919	+1,163	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△2,391	△1,587	+804	—
受注高	66,106	85,281	+19,174	+29.0
受注残高	195,931	224,580	+28,649	+14.6

当社グループの事業は、「プラントエンジニアリング事業セグメント」に基盤分野であるEPC(注1)事業及び成長分野と位置付ける海外事業が区分され、また、「サービスソリューション事業セグメント」に基盤分野であるO&M(注2)事業及び成長分野と位置付けるPPP(注3)事業が区分されております。セグメント別の業績は次のとおりです。

- (注) 1. EPC (Engineering, Procurement and Construction) : 設計・調達・建設  
 2. O&M (Operation and Maintenance) : 運転・維持管理  
 3. PPP (Public-Private Partnership) : 公共サービスの提供に民間が参画する手法

## (プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業における業績は、次表のとおりとなりました。

EPC事業においては、売上高は前期を上回りましたが、一部大型案件の粗利率の違い等により、営業利益は前期を下回りました。海外事業においては、北米子会社の業績が順調に推移したこと等により、売上高及び営業利益共に前期を上回りました。

	2022年3月期 (百万円)	2023年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	24,160	28,684	+4,523	+18.7
営業利益	△2,339	△1,774	+565	—
受注高	32,510	46,463	+13,953	+42.9
受注残高	107,375	130,820	+23,445	+21.8

## (サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業における業績は、次表のとおりとなりました。

O&M事業においては、資源リサイクル分野の売上高が前期を下回った影響等により、売上高及び営業利益共に前期を下回りました。PPP事業においては、株式会社みずむすびマネジメントみやぎを連結したこと等により、売上高及び営業利益共に前期を上回りました。

	2022年3月期 (百万円)	2023年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	15,321	18,046	+2,725	+17.8
営業利益	△869	△1,210	△340	—
受注高	33,596	38,817	+5,221	+15.5
受注残高	88,556	93,759	+5,203	+5.9

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12,607百万円減少し、120,457百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品が増加しましたが、売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ14,854百万円減少し、94,085百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物並びに為替の影響により顧客関連資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,246百万円増加し、26,372百万円となりました。

流動負債は、契約負債が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ15,284百万円減少し、41,695百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,928百万円増加し、18,464百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により減少しましたが、為替換算調整勘定が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ748百万円増加し、60,296百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は31,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ、11,270百万円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失1,919百万円、法人税等の支払による支出2,497百万円、仕入債務の減少による支出21,572百万円の一方、売上債権及び契約資産の減少による収入35,303百万円などにより、営業活動に伴う資金の増加は10,340百万円となりました（前年同期比2,258百万円減）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出703百万円、無形固定資産の取得による支出629百万円などにより、投資活動に伴う資金の減少は1,364百万円となりました(前年同期比1,016百万円増)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払による支出871百万円の一方、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの借入による収入2,300百万円などにより、財務活動に伴う資金の増加は1,658百万円となりました(前年同期比3,055百万円増)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績につきましては、2022年4月27日発表の予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,290	32,523
受取手形、売掛金及び契約資産	77,364	43,267
仕掛品	1,721	6,931
貯蔵品	6,225	6,838
その他	2,337	4,524
流動資産合計	108,939	94,085
固定資産		
有形固定資産	4,548	5,450
無形固定資産		
のれん	2,406	2,680
顧客関連資産	4,239	4,825
公共施設等運営権	1,000	975
その他	2,843	3,373
無形固定資産合計	10,489	11,854
投資その他の資産	9,087	9,066
固定資産合計	24,125	26,372
資産合計	133,065	120,457

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,829	9,144
電子記録債務	10,682	5,255
短期借入金	903	1,113
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	875	882
未払法人税等	2,759	432
契約負債	7,509	15,729
完成工事補償引当金	1,246	1,249
受注工事損失引当金	919	859
その他	8,255	7,027
流動負債合計	56,980	41,695
固定負債		
長期借入金	917	905
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	9,711	11,567
退職給付に係る負債	4,107	4,198
その他	1,799	1,793
固定負債合計	16,536	18,464
負債合計	73,516	60,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	9,406	9,411
利益剰余金	46,380	43,921
自己株式	△7,137	△7,089
株主資本合計	60,595	58,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	63
繰延ヘッジ損益	△35	2
為替換算調整勘定	△169	1,809
退職給付に係る調整累計額	△1,210	△1,055
その他の包括利益累計額合計	△1,349	820
非支配株主持分	302	1,286
純資産合計	59,548	60,296
負債純資産合計	133,065	120,457

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	39,482	46,730
売上原価	33,527	39,559
売上総利益	5,954	7,171
販売費及び一般管理費	9,164	10,156
営業損失(△)	△3,209	△2,984
営業外収益		
受取利息	126	66
受取配当金	59	60
持分法による投資利益	-	69
為替差益	44	997
その他	79	41
営業外収益合計	309	1,235
営業外費用		
支払利息	133	114
固定資産処分損	45	38
その他	3	17
営業外費用合計	182	170
経常損失(△)	△3,082	△1,919
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,082	△1,919
法人税等	△680	△453
四半期純損失(△)	△2,402	△1,465
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	122
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,391	△1,587

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,402	△1,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△2
繰延ヘッジ損益	-	111
為替換算調整勘定	870	1,978
退職給付に係る調整額	160	154
その他の包括利益合計	1,032	2,242
四半期包括利益	△1,369	776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,359	582
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	194

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,082	△1,919
減価償却費	729	759
のれん償却額	118	132
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	87	6
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	81	81
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△70	△96
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△75	△60
受取利息及び受取配当金	△185	△127
支払利息	133	114
為替差損益(△は益)	△44	△997
固定資産処分損	45	38
持分法による投資損益(△は益)	-	△69
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	41,911	35,303
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,261	△5,336
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,959	△21,572
契約負債の増減額(△は減少)	2,097	7,945
その他	△1,201	△1,384
小計	16,325	12,818
利息及び配当金の受取額	185	127
利息の支払額	△134	△107
法人税等の支払額	△3,776	△2,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,599	10,340
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	56	38
有形固定資産の取得による支出	△878	△703
無形固定資産の取得による支出	△947	△629
投資有価証券の取得による支出	△685	-
貸付けによる支出	△12	△88
貸付金の回収による収入	9	8
その他	76	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,380	△1,364

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	273
短期借入金の返済による支出	△142	△393
PFI等プロジェクトファイナンス・ローンによる収入	-	2,300
PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出	△430	△435
自己株式の処分による収入	56	-
配当金の支払額	△870	△871
非支配株主からの払込みによる収入	-	791
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△8	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,396	1,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	635
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,887	11,270
現金及び現金同等物の期首残高	18,044	20,613
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	183	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,115	31,884

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,160	15,321	39,482	—	39,482
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,160	15,321	39,482	—	39,482
セグメント損失(△)	△2,339	△869	△3,209	—	△3,209

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,684	18,046	46,730	—	46,730
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,684	18,046	46,730	—	46,730
セグメント損失(△)	△1,774	△1,210	△2,984	—	△2,984

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。